

豊橋技術科学大学

社会人向け実践教育プログラム・履修証明プログラム

2025 年度

IT 食農先導士養成プログラム

(最先端土地利用型 IT 農業コース)

募集要項

# 目次

1. プログラムについて	
(1) 目的	1
(2) 内容	1
(3) 受講料	2
(4) 同時受講	2
2. 募集について	
(1) 受講資格	3
(2) 募集人員	3
(3) 選考方法	3
(4) 受講許可の通知	3
3. 応募手続き等	
(1) 申込期間	4
(2) 応募書類等	4
(3) 応募にあたっての注意事項	4
(4) 応募書類提出先	4
4. 2025年度日程	5
5. 個人情報の取扱い	5
6. 問合せ先	5
別紙	6

## 1. プログラムについて

### (1) 目的

本学等がこれまでに蓄積してきた技術科学的成果を活用し、光制御技術、センサー関連技術、植物生体情報計測技術といった工学的知識や農業技術、さらにスマート農業分野の最前線の研究を体系的に学びます。これにより、土地利用型農業の管理・運営に対応できる IT スキルを備えた農業人材を育成し、地域社会と農業の持続的な発展を目指します。

### (2) 内容

#### ① 期間：9 か月

#### ② 構成

##### 【講義】（必修）

農学の基礎知識、土地利用型 IT 栽培管理技術、経営管理能力を習得する。

##### 【スマート農業特別講義】（必修）

本学講師より各分野の研究の最前線について学ぶ。

##### 【学会・学術集会（大会）・シンポジウム等参加】（必修・参加費用各自負担）

最新の研究成果や情報に触れ、時勢を踏まえた経営について考察する。

##### 【先進事例調査研修】（選択・費用別途）

現地視察を行い、実践者と直に話すことで、現場の問題や成功している要因を解析する。

※参加希望人数が最小実施人数に満たない時は中止する場合があります。

##### 【課題解決技術科学研究】（特別選択・費用別途）

生産現場における問題を解決するための課題を設定し、講師の指導のもと技科学的研究を行う。

#### ③ 修了要件

指定したすべての科目を修得すること。

※各科目指定の方法により評価します。（小テスト、レポート提出等）

#### ④ 付与される資格など

- ・「履修証明書」交付
- ・「IT 食農先導士」称号授与

(3) 受講料

15万円

ただし、会場までの交通費や昼食、オンライン講義にかかる通信費等講義以外の費用は自己負担となります。

※受講料に含まないもの（選択科目等）

- ・ 先進事例調査研修  
各回参加費
- ・ 課題解決技術科学研究  
個別相談
- ・ 学会、学術集会（大会）、シンポジウム参加に係る費用

※割引制度

以下に該当する場合は受講料を各号所定の金額とします。

- (ア) 豊橋市、田原市、蒲郡市在住又は在勤者 5万円
- (イ) 先端農業・バイオリサーチセンター実施の社会人向け人材育成事業の協賛  
自治体、企業（\*1）からの推薦者 5万円
- (ウ) 農林水産業従事者及び JA 又は農業経営を行う法人に所属する者、新たに  
農業経営を始めようとする者（\*2） 8万円

(\*1) 協賛自治体・企業

- ・ 豊橋市
- ・ 田原市
- ・ 蒲郡市
- ・ (株)サーラコーポレーション
- ・ (株)大仙
- ・ 豊橋信用金庫（企業は五十音順）

(\*2) 認定新規就農者として自治体から認定を受けている者、農業者等で新規就農のための研修を受けている者等

(4) 同時受講

共通科目が多いことを鑑み、本プログラム応募者は、同時期に開講の最先端植物工場マネージャー育成プログラム<以下植物工場マネージャー>にも応募することができます。

※共通科目と両方の専門科目を修得すれば、2つのプログラムの修了を認定します。

植物工場マネージャー・IT 食農先導士 共通科目 16 科目

植物工場マネージャー 専門科目 3 科目

IT 食農先導士 専門科目 2 科目

※詳細は、植物工場マネージャー募集要項をご確認ください。

① 受講料

2 万円（本プログラム受講料に追加）

② 応募方法

植物工場マネージャー募集要項記載の通り

※ただし、志願書（様式 1）、履歴書（様式 2）、推薦状（様式 5：対象者のみ）  
は、1 通のみで可

③ 注意事項

・書類審査による選考の結果、受講を許可された場合のみ受講できます。

・申込期間内に応募書類を提出してください。

（必ずしも同時提出である必要はありませんが、期間外は受理できません）

## 2. 募集について

(1) 受講資格

以下の各号のすべてに該当する者

① 高等学校卒業程度の学力を有する者

（本学において同等以上の学力があると認めた者を含む）

② 食農産業の振興に関心を持つ者

③ 自宅等でインターネットへ接続しパソコン等による受講ができる者

（メール、Web サービスの活用等基本的なスキルがある）

(2) 募集人員

5 名

(3) 選考方法

書類審査により選考を行います。

(4) 受講許可の通知

結果に関わらず 5 月 30 日（金）までに通知します。

### 3. 応募手続き等

(1) 申込期間

2025年4月1日（火）～5月9日（金）

(2) 応募書類等

以下よりダウンロードし、様式記載の指示に従ってパソコン等で作成の上、PDFにして電子メールでお送りください。

【講座詳細】

<https://www.recab.tut.ac.jp/>

- ① 志願書（様式1）
  - ② 履歴書（様式2）
  - ③ 志望動機（様式3）
  - ④ 小論文（様式4）
  - ⑤ 受講料割引を申請する場合は該当の各号を明らかにできる書面の写し
    - （ア） 運転免許証、健康保険証、社員証など住所、在職を確認できる身分証
    - （イ） 協賛自治体・企業の推薦状（様式5）
    - （ウ） 農地台帳・組合員証・健康保険証・社員証など、研修先の推薦状など
- ※提出のない場合は割引されません。

(3) 応募にあたっての注意事項等

- ・記入に不備のあるものは受理できません。
- ・書類受理後の連絡は原則電子メールで行います。こまめに受信フォルダを確認してください。
- ・指定受信の場合は、@recab.tut.ac.jpからのメールを受信できるように設定してください。迷惑メールフォルダに振り分けられない等、確実に受信できるように設定確認をお願いします。

(4) 応募書類提出先

E-mail : support@recab.tut.ac.jp

豊橋技術科学大学

先端農業・バイオリサーチセンター

※PDFにして電子メールでお送りください。

※件名に「応募書類送付」と明記してください。

#### **4. 2025 年度日程**

別紙参照

※状況により日程、講義方法等の変更をする場合があります。

#### **5. 個人情報の取扱い**

応募書類等に記載された個人情報は適切に管理し、本プログラムおよび豊橋技術科学大学、先端農業・バイオリサーチセンター人材育成事業の運営に必要な事項以外には使用いたしません。

#### **6. 問合せ先**

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1 - 1

豊橋技術科学大学

技術科学イノベーション研究機構 先端農業・バイオリサーチセンター

電話：0532 (44) 6655

E-mail：support@recab.tut.ac.jp

## IT食農先導士養成プログラム

\* 日にちはすべて土曜日  
(「スマート農業特別講義」は水曜夜)

No.	日にち	科目名	講師所属	講師	形式	授業時数
1	6月7日	植物生理学	豊橋技術科学大学	山内 高弘	対面	6
2	6月14日	土壌植物栄養学	愛知県経済農業協同組合 連合会	池田 彰弘	オンライン	6
3	6月21日	農業経営学	愛知大学	藤井 吉隆	オンライン	6
4	6月28日	情報管理論	愛知県立大学	入部 百合絵	演習 (対面)	6
5	7月5日	資源植物学	株式会社TOWING	熊崎 忠	オンライン	6
6	7月12日	環境経営論	東洋大学	後藤 尚弘	オンライン	6
7	7月19日	植物保護学	愛知県経済農業協同組合 連合会	松崎 聖史	オンライン	6
8	7月26日	農業関連バイオテクノロジー論	豊橋技術科学大学	中鉢 淳	オンライン	6
9	8月9日	農業環境計測論	日本大学	梅田 大樹	オンライン	6
10	8月30日	環境保全型農業論	日本大学	佐々木 大	オンライン	6
11	9月13日	有機農業概論	特定非営利活動法人 有機農業推進協会	外園 信吾	オンライン	6
12	10月11日	食品安全対策のためのHACCP 管理について	豊橋市保健所	山本 新也	オンライン	3
13	10月11日	農産物の品質管理(GAP概要)	一般社団法人 GAP普及推進機構	山本 英治	オンライン	3
14	11月1日	マーケティングと経営戦略	MORE経営コンサルティング 株式会社	日野 眞明	演習 (対面)	6
15	11月22日	農業における制度会計 (財務会計・税務会計)と管理会計	税理士法人 成和	渡邊 利明	演習 (対面)	6
16	12月6日	スマート農業演習	豊橋技術科学大学	磯山 侑里	演習 (対面)	6
17	9月3日 9月17日 10月15日 11月19日 12月17日 1月21日	スマート農業特別講義 (全6回 1.5時間/回)	豊橋技術科学大学	各回担当	オンライン	9
18	任意	学会・シンポジウム参加 (期間中2回)			任意	6
選択	11月29日 1月17日	先進事例調査研修 (2回予定)	豊橋技術科学大学 農業者、企業等	各施設担当	現地視察	
特別 選択	個別対応	課題解決技術科学研究	豊橋技術科学大学 農業者、企業等	各担当	個別対応	



植物工場マネージャー同時受講の場合は、以下科目も必修（専門科目）

No.	日にち	科目名	講師所属	講師	形式	授業 時数
1	8月23日	施設園芸学	株式会社 大仙	河合 幹裕	オンライン	6
2	9月6日	施設園芸工学(植物診断)	豊橋技術科学大学	高山 弘太郎	オンライン	6
3	9月20日	養液管理論	明治大学	岩崎 泰永	オンライン	6

\* 講師敬称略

\* 都合により日程等変更する場合があります

\* 対面・演習(対面)科目は豊橋技術科学大学等で実施予定